



この度は、私のオリジナル曲「で愛ふれ愛めぐり愛」を、イメージソングに起用して頂き、大変光栄に思いますと同時に、心からお礼申し上げます。

この詩に出てきます「長いトンネルも知らぬ間に光射す世の中に」にあるように、人生は長いトンネルからの出口探しの旅であったり、あるいは周りから温かな光がさしているにも関わらず、頑なに心を閉ざして、光に気づけないときもあるかと思います。

すべての人は平等に生きる命を与えられてこの世に誕生しました。障害の無い人が幸せでよい人生を歩めるとは限りません。また障害が有るからこそ、ささやかなことに感謝をし、人の心の闇も深く理解することができ、より充実した幸せな人生が過ごせることも有ると思います。そして健常者には無い素晴らしい魂を持っておられるはずです。

私はドイツに住んで15年になりますが、これまでもたくさんの重度障害者の方を見てきました。印象深かった思い出があります。

ある日玄関前を掃除していると、お母さんに支えられてふらふらと歩いていた女の子が、私に元気よく明るく「こんにちは！」とあいさつされました。その顔が私には輝く天使のように映りました。お母さんも、これまで見たことが無いほど明るく優しく充実した、きらきら輝くお顔をされていました。この母子にこれまでどのような苦勞と葛藤が有ったかというのは十分想像ができます。でも、太陽のように明るいお母さんに守られて、その輝く笑顔をそのまま受け継いでいるこの子はなんて幸せなんだろう・・・！と、その母子に深く感動しました。

それは私にとって、正に素晴らしい「で愛」でした。愛を持って「ふれ愛」その温かな心を重ねていくと、また素晴らしい「めぐり愛」が待っているものです。この歌が、多くの重症心身障害児(者)を守る会の皆様の心に、「ふれ愛」となって、広がって行きますことを、心から願っております。「言葉にできない苦しみは、分かち合い助け合い生きよう」(歌詞より)

日高美子